

是非、
この機会に！

「高断熱窓」採用の断熱改修工事の補助制度が開始！

対象期間／令和6年11月22日以降の着工

窓のリフォーム 考えてみませんか？

2024年11月22日、省エネ改修、断熱窓への改修、高効率の給湯器の導入など、住宅の省エネ化への支援を強化することが閣議決定されました。

これを踏まえ、11月29日に閣議決定された令和6年度補正予算に、住宅の省エネ化の支援を強化するための補助制度が盛り込まれました。



「高断熱窓」
採用の断熱改修工事 **補助金額 最大200万円**まで

※「高断熱窓」採用の断熱改修工事に対する補助が得られる制度が「断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO₂加速化支援事業【環境省】」です。

《断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO₂加速化支援事業(先進的窓リノベ2025事業) 補助金制度概要》

- 対象期間／令和6年11月22日以降の着工
- 対象工事(戸建住宅)／窓(ガラス・サッシ)の断熱改修工事※
※熱貫流率(Uw値)1.9以下等、建材トップランナー制度2030年目標水準値を超えるもの等、一定の基準を満たすもの
- 補助金額／5万円～200万円

工種	グレード	熱貫流率 (w/m ² ・k)	大きさの区分		
			大 ※1	中 ※2	小 ※3
内窓設置	S	Uw1.5以下	65,000	44,000	28,000
	A	Uw1.9以下	26,000	18,000	12,000
外窓交換 (サッシ交換)	S	Uw1.5以下	118,000	87,000	59,000
	A	Uw1.9以下	92,000	69,000	46,000

(単位:円、施工箇所1箇所あたり)

※1 大:サッシ(一箇所)の面積2.8㎡以上

※2 中:サッシ(一箇所)の面積1.6㎡以上2.8㎡未満

※3 小:サッシ(一箇所)の面積0.2㎡以上1.6㎡未満

※令和6年12月27日時点の概要となります。※「断熱窓への改修促進等による住宅の省エネ・省CO₂加速化支援事業【環境省】」より抜粋しております。

※出典元https://www.env.go.jp/earth/earth/ondanka/building_insulation/window_00003.html

リフォームだけが対象の補助金ですが、予算1,350億円となっており、相当の力点が置かれています。
窓の性能アップは脱炭素社会への貢献にとどまらず、皆様の生活にも大きなメリットのあるリフォーム。
是非、この機会にご検討をお勧めします。

今後も注目が続く「住まいの高断熱化」!

国が掲げる最新の住生活基本計画^{※1}では、「2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、省エネルギー性能を一層向上しつつ、ライフサイクルでCO₂の収支をマイナスにするLCCM住宅の評価と普及を推進するとともに、住宅の省エネルギー基準の義務づけや省エネルギー性能表示に関する規制など更なる規制の強化」が基本的な施策として掲げられています。具体的目標としては、住宅ストックのエネルギー消費量の削減率(平成25年度比)を2030年に▲18%と記載されており、世界規模での地球温暖化対策の一環として既存住宅の高断熱化は一層の注目対象になることが想定されます。

※1国土交通省ホームページ「住生活基本計画(全国計画) 令和3年3月19日閣議決定」より※出典元<https://www.mlit.go.jp/common/001392030.pdf>

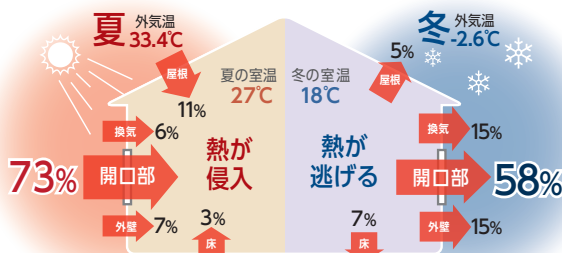
窓の断熱化リフォームのメリット

メリット① 快適性アップ

建物の中で熱が最も多く出入りするの窓から、とされています。「窓際が寒い/暑い」「室内に冷暖房のムラがあり不快」といった現象を抑えるためには、窓の性能アップが欠かせません。断熱効果で、真夏・真冬の窓際も不快感を抑え、結露や防音対策にもつながります。



■建物へ熱が出入りする割合



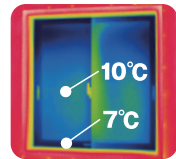
●建物の全体の熱の出入りを100%とした時の各部の割合を示しています。
夏：冷房時(昼)に熱が入る割合、冬：暖房時に熱が流出する割合

※建物の仕様により数値は異なります。

出典：(一社)日本建材・住宅設備産業協会HP「省エネ建材で、快適な家、健康的な家」を元に加工

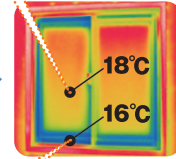
■旧タイプのアルミサッシと各メニューの断熱性能を比較

A 旧タイプのアルミサッシ
U値：6.51w/m²k



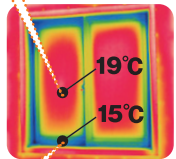
アルミ枠、シングルガラスで冷え込む

二重サッシ
(内窓取付)
A+8℃ 1.71w/m²k



樹脂の枠と障子で冷え込み抑制

サッシ交換
(HALPTトリプル)
A+9℃ 1.65w/m²k



枠・ガラス・障子 全て断熱性アップ

※測定：YKKAP価値検証センター（測定条件：外温度0度／室内20度）

メリット② 省エネ性アップ

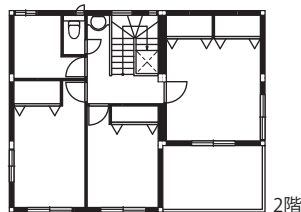
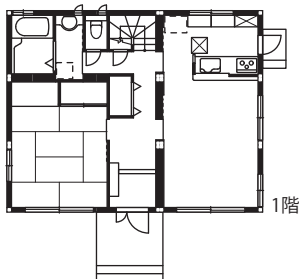
窓の性能が上がることによって冷暖房効率が高まり、消費エネルギーが抑えられるので、「CO₂排出量」「冷暖房費」の抑制につながります。電気代上昇リスクなどが今後も懸念される中、継続的・有効的な対策のひとつが断熱リフォームと言えます。さらに、国の後押しがある今は補助金により導入コストのサポートが受けられます。



■モデルプランにおけるサッシリフォームのシミュレーション

既存建物仕様	①リフォーム前建物UA値	①リフォーム後建物UA値	③冷暖房費削減効果円/年間
①モデルプランパルフェ88 (天井根太2×4、シングルガラスサッシ)	1.41	0.93	約-40,000円
②モデルプランパルフェ21 (天井根太2×6、ハイカットペアガラスサッシ)	1.12	0.89	約-14,000円

UA値とは、室内の熱がどのくらい外へ逃げやすいかを示す数値です。「外皮平均熱貫流率」ともいいますが、単位は「W/m²・K」。数値が小さいほど熱が逃げにくく、断熱性・省エネ性が高いということになります。



※【試算条件】建物：セキスイハイム（鉄骨系）フラット屋根タイプのモデルプラン床面積：約126㎡（1階約68㎡、2階約58㎡） 気象データ：東京都 電力契約：東京電力「従量電灯B」2024年10月単価（燃料調整費、再生可能エネルギー発電促進賦課金含む） 空調条件：暖房22℃、冷房26℃設定 運転時間：LDK、和室（6～10時、12～14時、16～22時） 主寝室、洋室（1）、洋室（2）（20～23時） 光熱費はお客様の生活スタイルを推定して算出した予想値です。金額は目安であり、お客様の暮らし方、使用電化製品、生活スタイル、敷地の条件、地域周辺等の条件により変わります。条件によっては数値を下回る場合があります。

※掲載の写真はすべてイメージです。

積水化学工業株式会社

住宅カンパニー

www.sekisuiheim-owner.jp